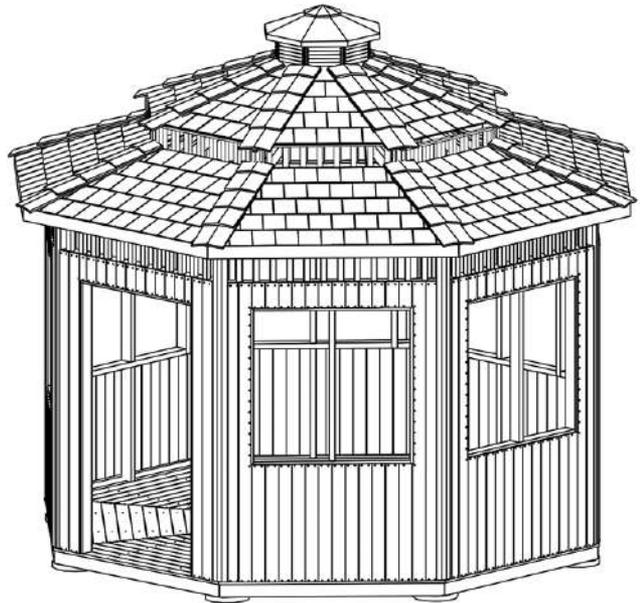


10' Hexagon

イラストはオプションの〈二段屋根&キューポラ仕様〉



12' Octagon

イラストはオプションの〈二段屋根&キューポラ仕様〉

All Season Gazebos

INSTRUCTIONAL MANUAL

オールシーズンガゼボ 六角形、八角形 組立説明書

THE ALL SEASON GAZEBO

◎おもな組み立て順序

1. 床の組み立て
2. 壁の組み立て
3. 屋根の組み立て
4. 仕上げ

組み立てに使用する付属のネジ頭は、スクエア(四角)です。電動ドライバーの先端に付けるスクエアビット(1/8インチ)はキットに1ヶ含まれていますが、何人かで組み立てる場合はあらかじめ各自ご用意下さい。

組み立ては2人以上で行います。組み立てる前に組立説明書をよくお読み下さい。

お手入れの仕方

シダーシェッドシリーズは天然木材の持つ美しさ、耐久性の高いウエスタンレッドシダーを使用しております。適したお手入れをすることで何年でも美しいガーデンアクセントとしてお楽しみ頂けます。

自然の無塗装のウエスタンレッドシダーは時を経て風雨にさらされると美しいシルバーグレーの色合いに変色します。いつまでもウエスタンレッドシダーの自然色をお望みの場合は組み立て後に、良質のステイン塗装が必要です。

木材にカラーチョークやクレヨンの描き込みがある場合は湿った布や紙ヤスリで軽くこすれば消えます。

シダーシェッドは環境にやさしい紙類で梱包し、ステープル(ホッチキスの針)で留めております。梱包を開けるときにすべてのステープルの取り外しにペンチを用意して下さい。

注意:

シダーシェッドの組み立てに電動工具またはハシゴが必要な場合があります。注意して使用して下さい。

不適切な組み立て、手入れ、修理の不手際により生じた製品の責任は負いかねますので、ご了承下さい。

必要許可の取得は購入者の責任において行って下さい。

PARTS LIST:

Part Name		Hexagon 10'	Octagon 12'
Rim Joist	側根太	6	8
Long Floor Joist	長い 床根太	6	8
Short Floor Joist	短い 床根太	12	16
Pre-assembled deck Panels	デッキパネル	12	16
Centre Deck Piece	センターデッキピース	1	1
Floor Core Block	床コアブロック	1	1
Fiberglass Screen	ファイバーグラス スクリーン	1	1
Long Rafter	長い 屋根垂木	6	8
Short Rafter	短い 屋根垂木	12	16
Ridge Caps	棟キャップ	Bundles	Bundles
Roof Core Block	屋根コアブロック	1	1
Fascia	鼻隠し	6	8
Sidewall Panel Sections	壁パネル	5	7
Door Wall Section	ドアパネル(ドア枠)	1	1
2 Tier Core Block	〈オプション〉二段屋根用 ロング屋根コアブロック	1	1
Pre-Assembled 2-Tier Rafters	〈オプション〉二段屋根用 屋根垂木	6	8
2 Tier Face Rail Baluster Sets	〈オプション〉二段屋根用 フェイス・レール	6	8
Pre-Assembled Small Roof Panels (2 Tier option only)	〈オプション〉二段屋根用 屋根パネル	6 Upper	8 Upper
		6 Lower	8 Lower
Roof Panels	屋根パネル (標準屋根のみ)	6	8
Small Cupola Cap	屋根キャップ	1	1
Cupola Roof	〈オプション〉 キューポラ 屋根	1	1
Cupola Side Panels	〈オプション〉 キューポラ サイドパネル	6	8
Bench Seat	〈オプション〉 ベンチ 座面	-	-
Bench Legs	〈オプション〉 ベンチ 脚	-	-
Short Soffits	短い 軒下の板	12	16
Long Soffits	長い 軒下の板	6	8
Soffit Trim	軒下のトリム	6	8
Corner Trim Boards	コーナートリムボード	Left 6	Left 8
		Right 6	Right 8
3" Screws	76mm ネジ		
2" Screws	50mm ネジ		
2" Box Nail for Ridge	50mm 釘 棟キャップ用		
1 3/4" Finishing Nails	45mm 仕上げ釘		
2 -Door Handles Locking Mech. Connecting Shaft Finishing Screws	ルーフィングフェルト(棟キャップ下地)、 ドアの取っ手×2、ドア金物一式		

ALL SEASON HEXAGON GAZEBO SPECIFICATIONS

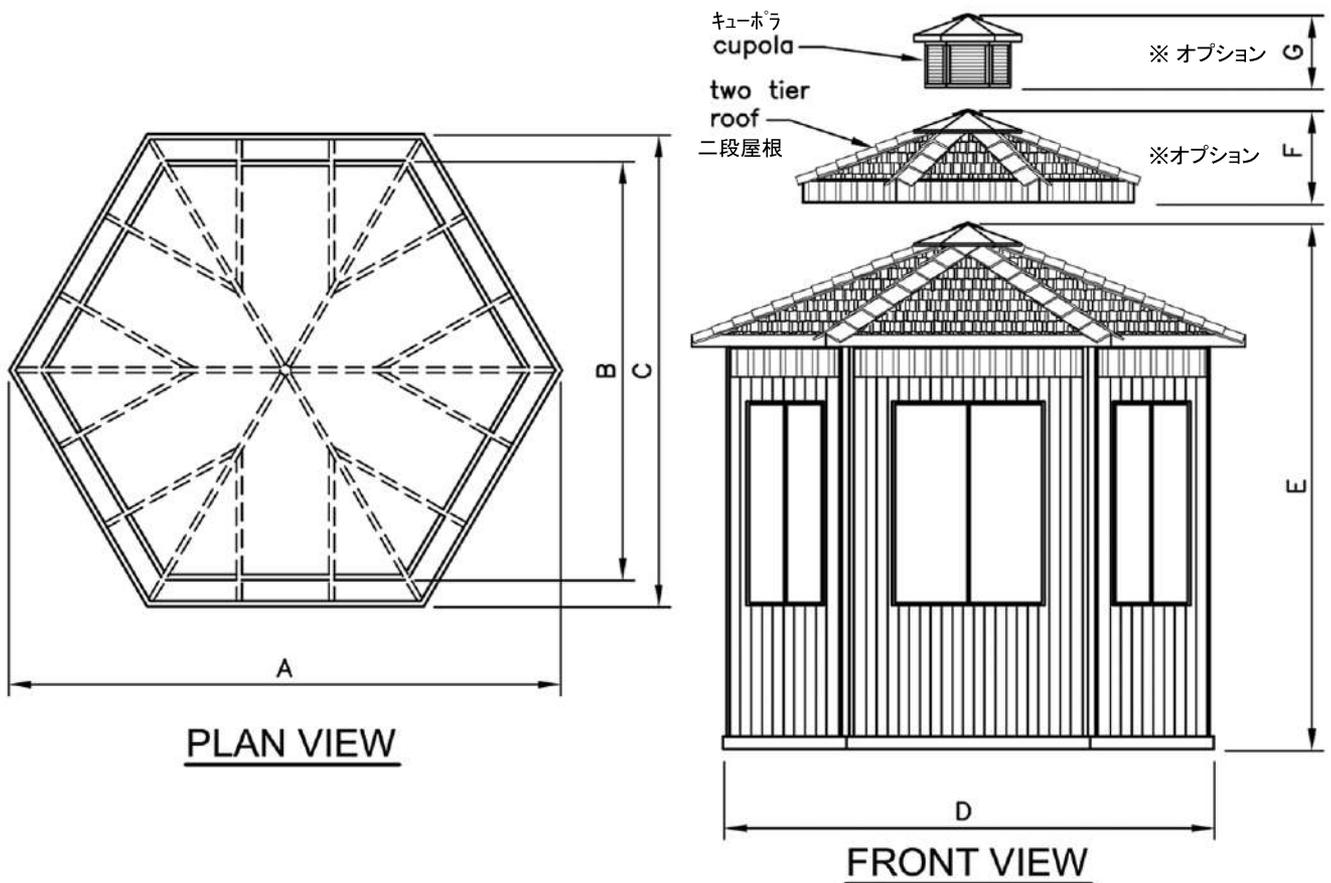
All Gazebos are constructed of 100% Western Red Cedar.

All framing components are nominal 2"x4" in size.

Wall posts consist of 2 - 2"x4" fastened together.

床根太、構造材:2x4材(40x90mm)使用

オールシーズンガゼボ 6角形10フィート



Measurements For All Season Hexagon Gazebo	
Dimensions (Imperial)	
Size	10'
Area	85 Sq. Ft.
A	12'-10" 約 3910mm
B	9'-10" 約 3000mm
C	11'-1" 約 3380mm
D	11'-4" 約 3450mm
E	10'-4" 約 3150mm
F	10" 約 305mm
G	1'-0" 約 305mm
Window Opening	3'-5 3/4"x3'-5 3/4" 約 1060×1060mm
Door Opening	3'-3 1/2"x6'-3" 約 1090×1900mm
Weight	2200 lbs 約 998kg
Panelized Package Size	72"Wx87"Lx75"H

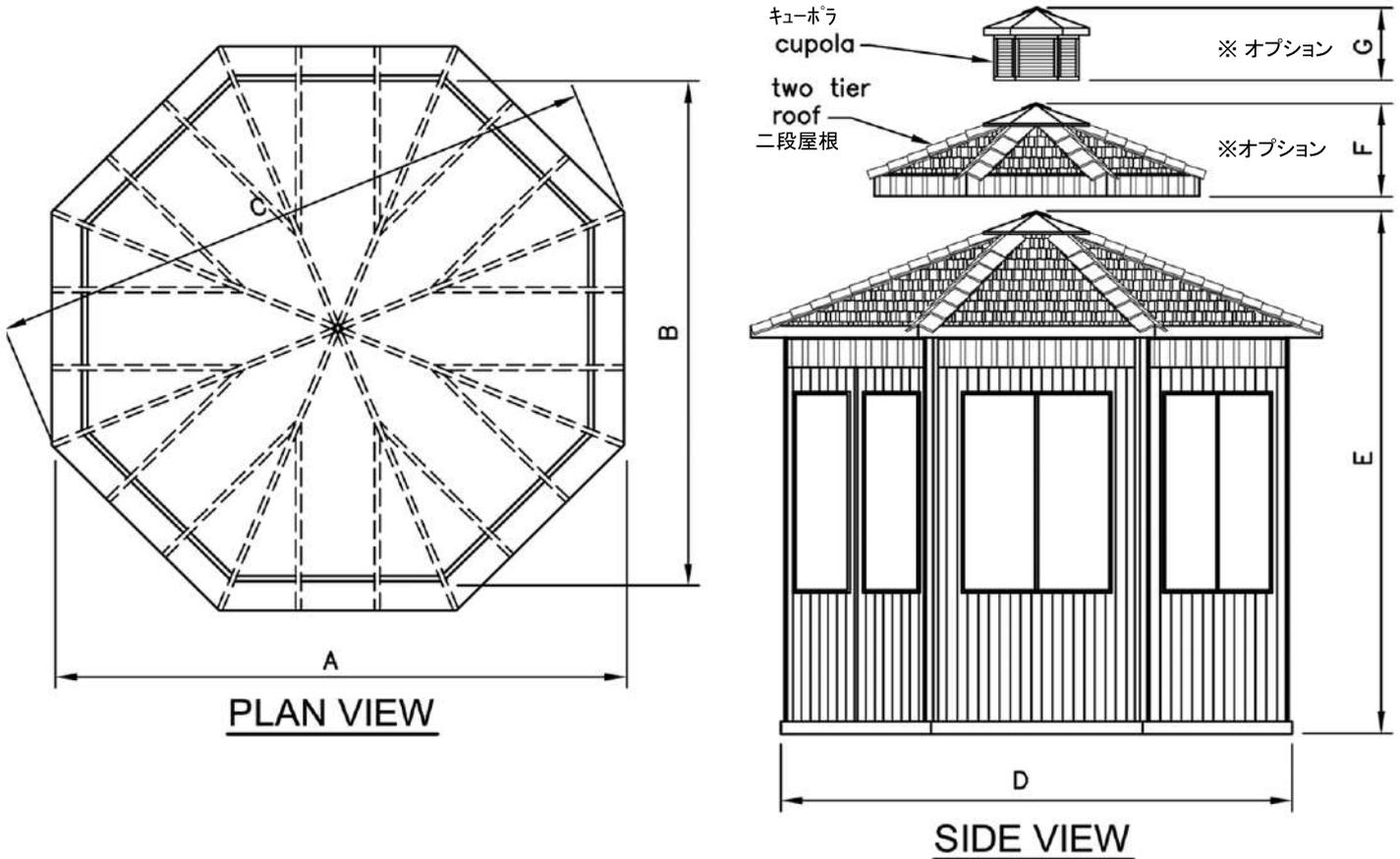
Note - Two tier roof and Cupola are optional

ALL SEASON OCTAGON GAZEBO SPECIFICATIONS

All Gazebos are constructed of 100% Western Red Cedar.
 All framing components are nominal 2"x4" in size.
 Wall posts consist of 2 - 2"x4" fastened together.

オールシーズンガゼボ 8角形12フィート

床根太、構造材:2x4材(40x90mm)使用



Measurements For All Season Octagon Gazebo	
Dimensions (Imperial)	
Size	12'
Inside Area	120 Sq. Ft.
A	13'-6" 約 4110mm
B	12'-1" 約 3680mm
C	15'-0" 約 4570mm
D	13'-0" 約 3960mm
E	10'-8" 約 3250mm
F	1'-0" 約 305mm
G	1'-0" 約 305mm
Window Opening	3'-5 3/4"x3'-5 3/4" 約 1060 × 1060mm
Door	3'-3 1/2"x6'-3" 約 1090 × 1900mm
Weight	2200 lbs 約 998kg
Panelized Package Size	72"Wx88"Lx80"H

Note - Two tier roof and Cupola are optional

PRE-ASSEMBLED COMPONENTS

- The All Season Gazebos are shipped from the factory in panlized kit to assist with the ease of construction.

TOOLS REQUIRED

◎用意するもの

- ・電動ドライバー（インパクト）
- ・金づち、釘抜き
- ・水平器
- ・6'（約1800mm）の脚立
- ・メジャー
- ・プラスのドライバー（またはビット）
- ・スコップ
- ・鉛筆
- ・のこぎり など
- ・ステープルガン（タッカー）

※p7 床のスクリーン張りの際に使用します。無い場合は、小さな釘などをご用意ください。
 ※ホームセンター等で～1000円ほどで購入できます。（100円shopでも300円程で購入可）

Note:

組み立てには、電動工具またはハシゴが必要です。
 十分注意して使用して下さい。

床の組み立て

オールシーズンガゼボは、水平な地面の上に組み立てることが大切です。組み立ては最終設置場所で行ってください。設置場所の水平を確認することは非常に重要です。この段階で水平を確実にしておかないと、のちに壁や屋根の水平を調整することは非常に困難になります。

床を組み立てていきます。

まず外枠となる、側根太を取り出し下図のように並べます。側根太は両端が斜めにカットされているもので、六角形ガゼボの場合は6本、八角形の場合は8本あります。

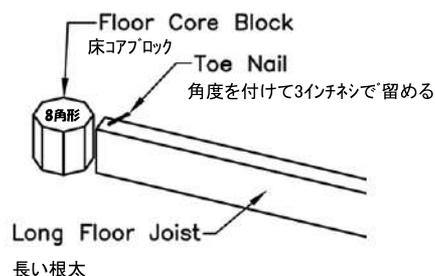
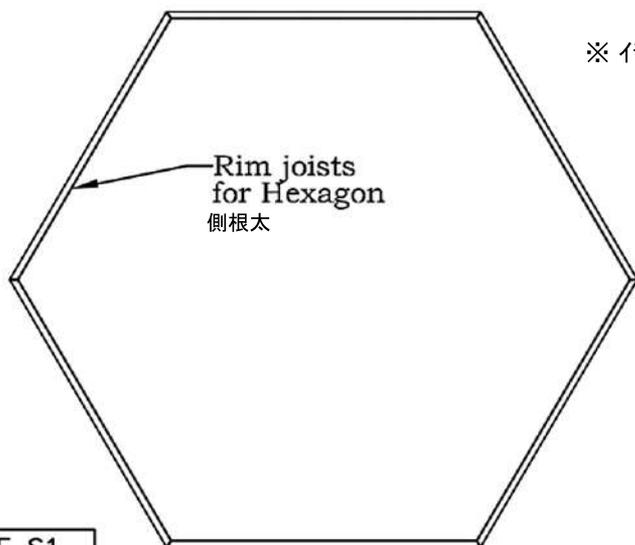


FIGURE S1

長い根太を側根太の中に並べ、その中心に床コアブロックを置きます。長い根太の片側は矢印のようにカットされているのでそちら側を側根太の接合部に合わせます。六角形ガゼボの場合は6本、八角形の場合は8本あります。そして3インチ(76mm)ネジを3本使って、長い根太と側根太をそれぞれ接合し、床コアブロックと長い根太もネジ留めします。図1、2参照

※床コアブロックは、六角または八角形のブロックで、屋根コアブロックと同じ形をしています。

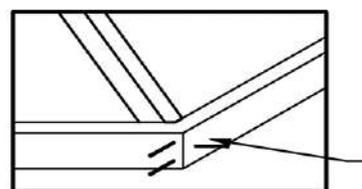
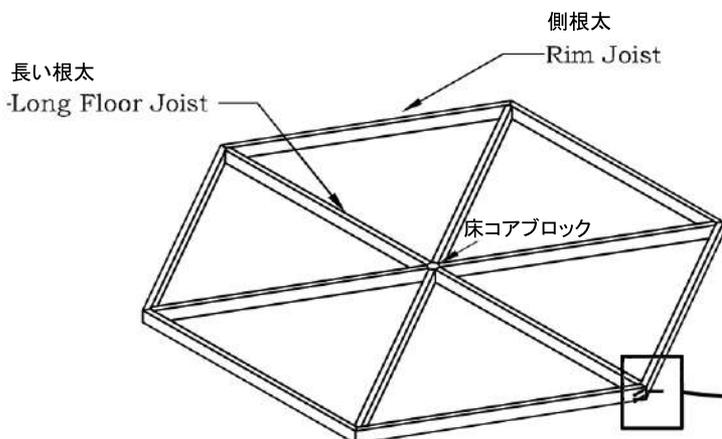


FIGURE S2

短い根太も取り付けます。6角形の場合は12本、8角形は16本あります。
斜めにカットされている側は長い根太に、平らにカットされている側は外枠に、それぞれ3インチ(76mm)ネジを使って留めます。

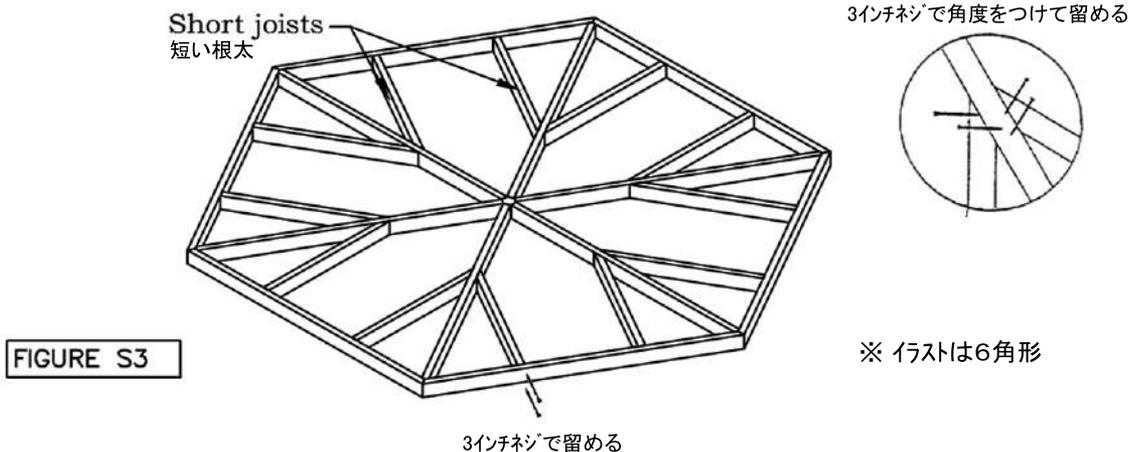


FIGURE S3

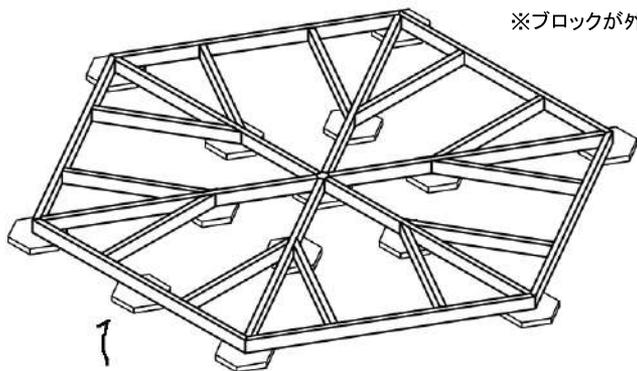
基礎ブロックの上に組み上がった床根太を置きます。
ブロックは、厚み50mmほどものを用意し、根太同士の接合部や床コアブロック下へ置かれるように配置します。
図4参照。6角形なら14個(6角形の場合は出入り口にも)、8角形なら17個置きます。

水平器を使ってあらゆる箇所を確認し、必要であればブロックと根太の間に詰め木などを挟んだり、
地面の土を取り除いたりして高さを調整します。
先に外側に配置されているブロックを水平にし、それに合わせて内側のブロックを調整していくと良いでしょう。

グラスファイバースクリーンを取り付けます。スクリーンは虫の侵入を防ぎます。
床根太がすべて覆われるように敷き詰めたら、ステープルガン(タッカー)を使って根太に打ち付け、余分な
スクリーンはカットします。ステープルガン(タッカー)がない場合は小さい釘などで留めます。

※イラストのブロックは多角形ですが、厚50mm×200~300mmの四角い平板など、
ご用意できるもので結構です。

※ブロックが外枠からあまりはみ出ないようにします。



※6角形の場合は出入り口にも置きます。

※次ページでこの上にデッキを取り付けるので、ステープルの頭(釘の頭)が
飛び出ないように(根太の上面と段差が出ないように)してください。
また、長い根太と側根太には必要以上に留めないようにしてください。

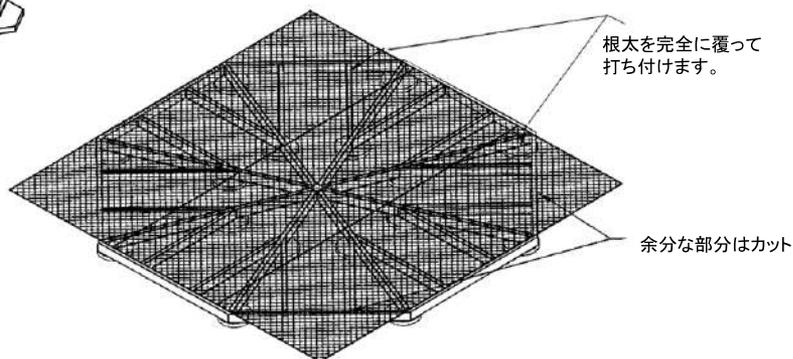


FIGURE S4

デッキパネルを取り付けます。

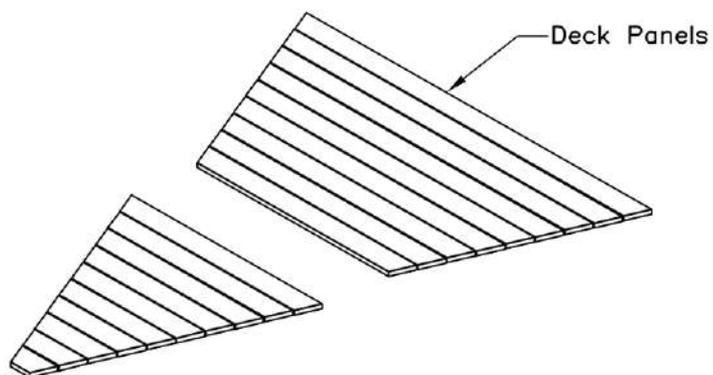


FIGURE S5

大小のデッキパネルを根太の上に並べます。3インチ(76mm)ネジを使ってデッキの両端にそれぞれ1本ずつ根太に対して留め、すべてのデッキパネルを取り付けます。

- ※ はじめにすべてのデッキパネルを並べ、バランスを見ながらネジ留めすると良いでしょう。
- ※ ネジは必ず根太に対して留めるようにしてください。

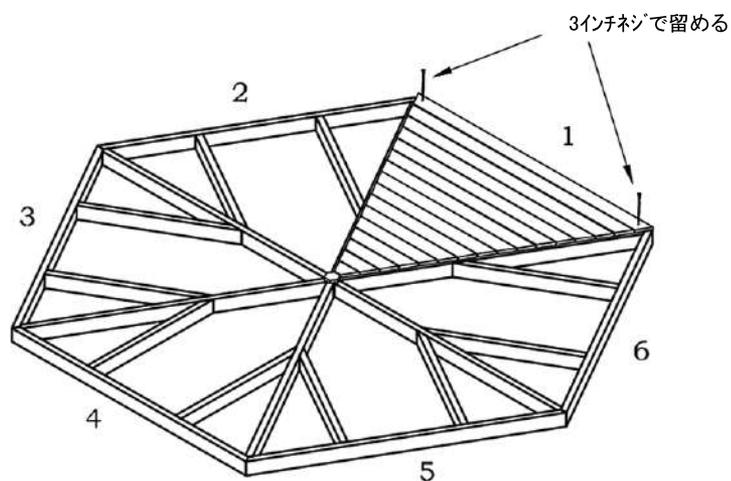
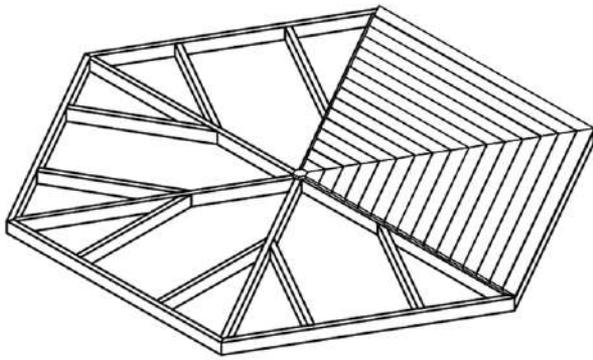
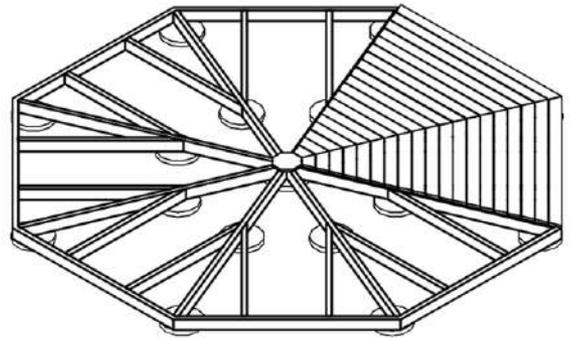


FIGURE S6



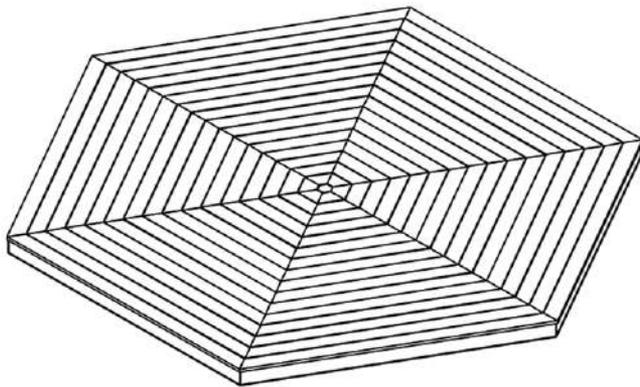
6角形



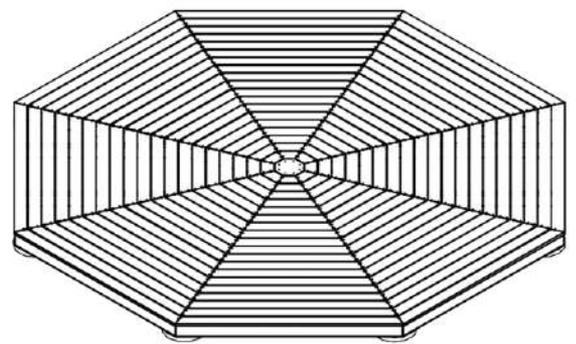
8角形

FIGURE S7

最後にセンターデッキピースを取り付けます。6角形または8角形のセンターデッキピースを取り出し、中心部に置きます。位置を整えたら3本の3インチ(76mm)ネジを使って根太に対して留めます。



6角形



8角形

FIGURE S8

床の完成です。

壁の組み立て

下図を参照し、取り付けるドアや窓パネルを確認します。

- ・ 六角形：窓パネル×5枚、ドア(ドア枠)×1
- ・ 八角形：窓パネル×7枚、ドア(ドア枠)×1

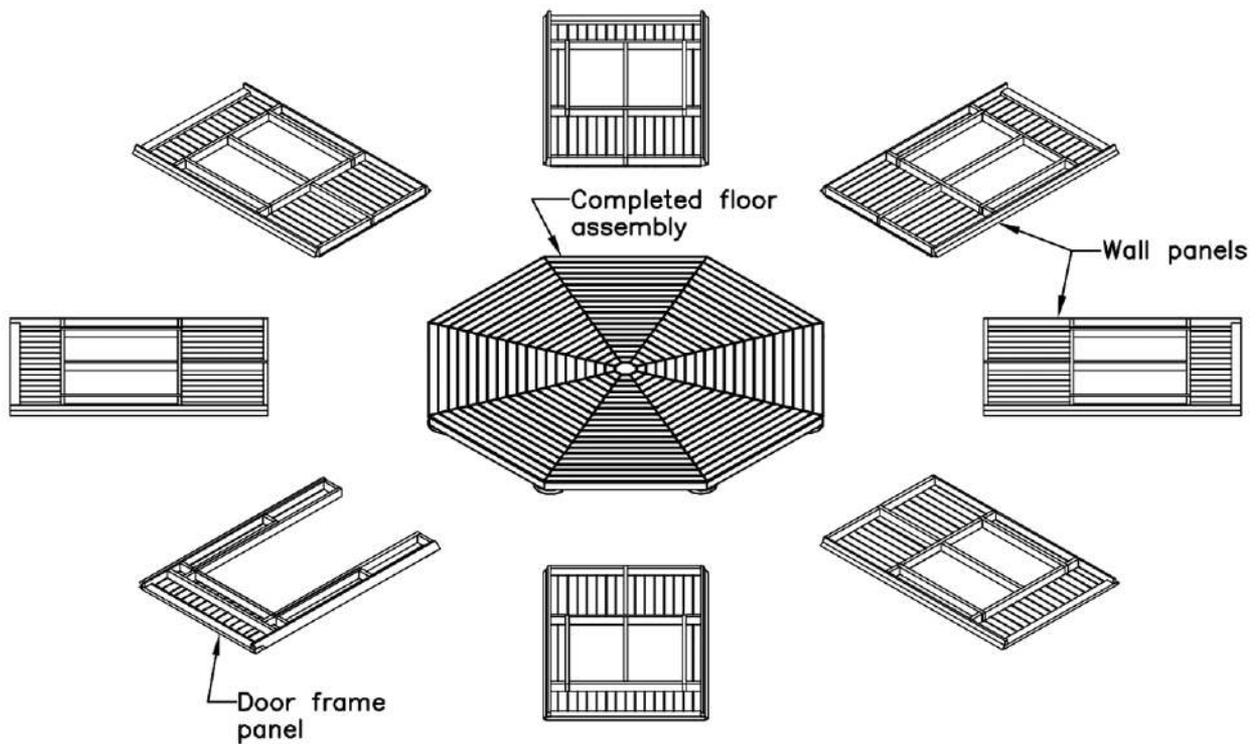


FIGURE S9

※イラストは八角形

窓パネルを取り付けていきます。

1枚の窓パネルをデッキの上にもっすぐ立て、角度が付いているパネルの柱をデッキの継ぎ目に合わせるように置いたら、3インチ(76mm)ネジを6本使って窓パネルをデッキに対して固定します。
図10、11参照

次に隣り合う窓パネルを取り出し、角度が付いた柱同士をぴったり合わせたら3インチ(76mm)ネジを使ってまず窓パネル同士を接合し、それからデッキに対してもネジ留めします。次ページ 図13参照

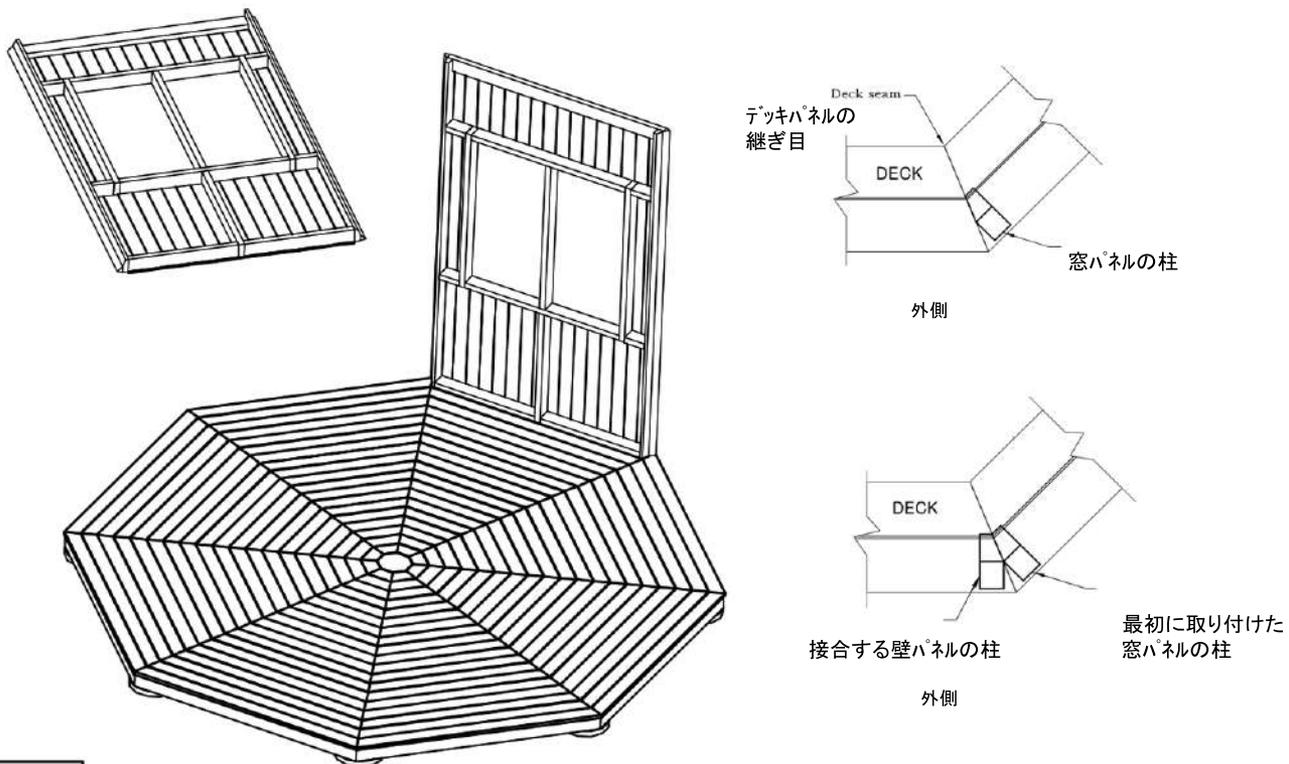


FIGURE S10

※イラストは八角形

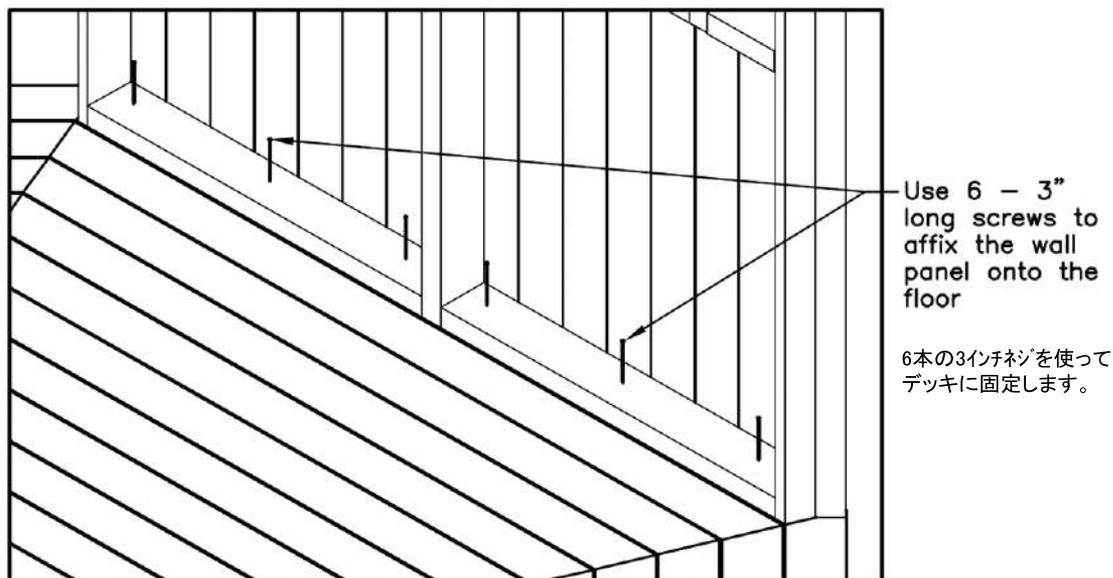
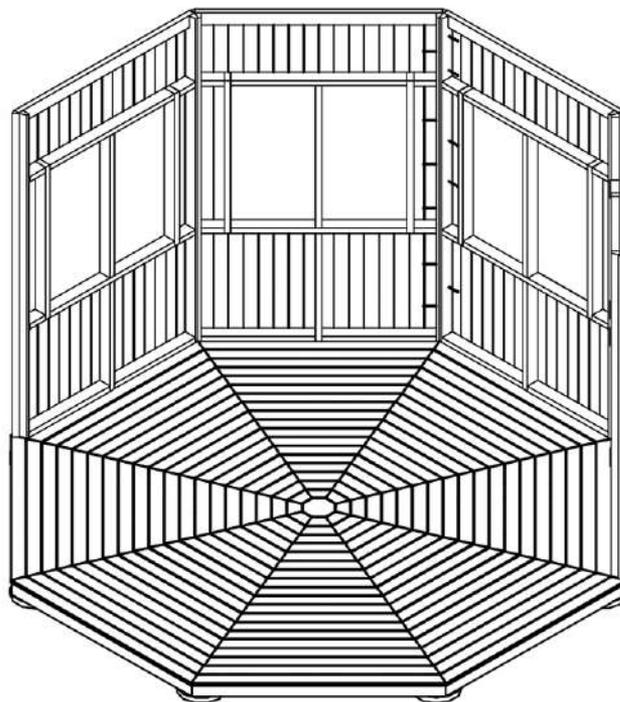


FIGURE S11

同じように残りの窓パネルも3インチ(76mm)ネジを使って、壁同士を接合してからデッキに固定し、
ドア(ドア枠)も取り付けます。



※イラストは八角形

FIGURE S12

3インチ(76mm)ネジで左右交互に
窓パネル同士を接合する

Use 3" long
screws to
affix the wall
panel together

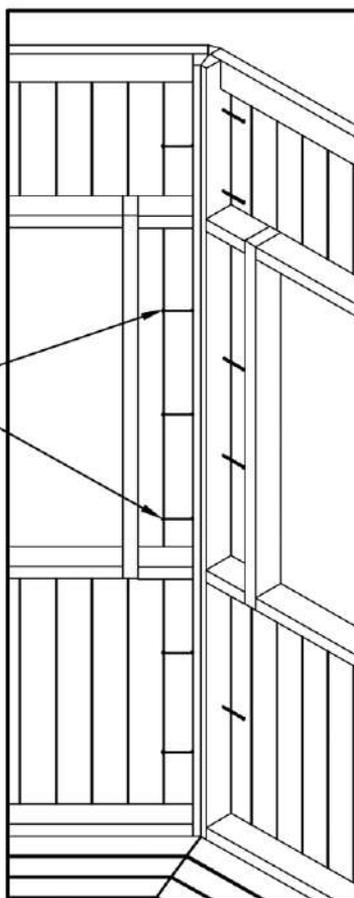


FIGURE S13

壁パネル取り付け完成

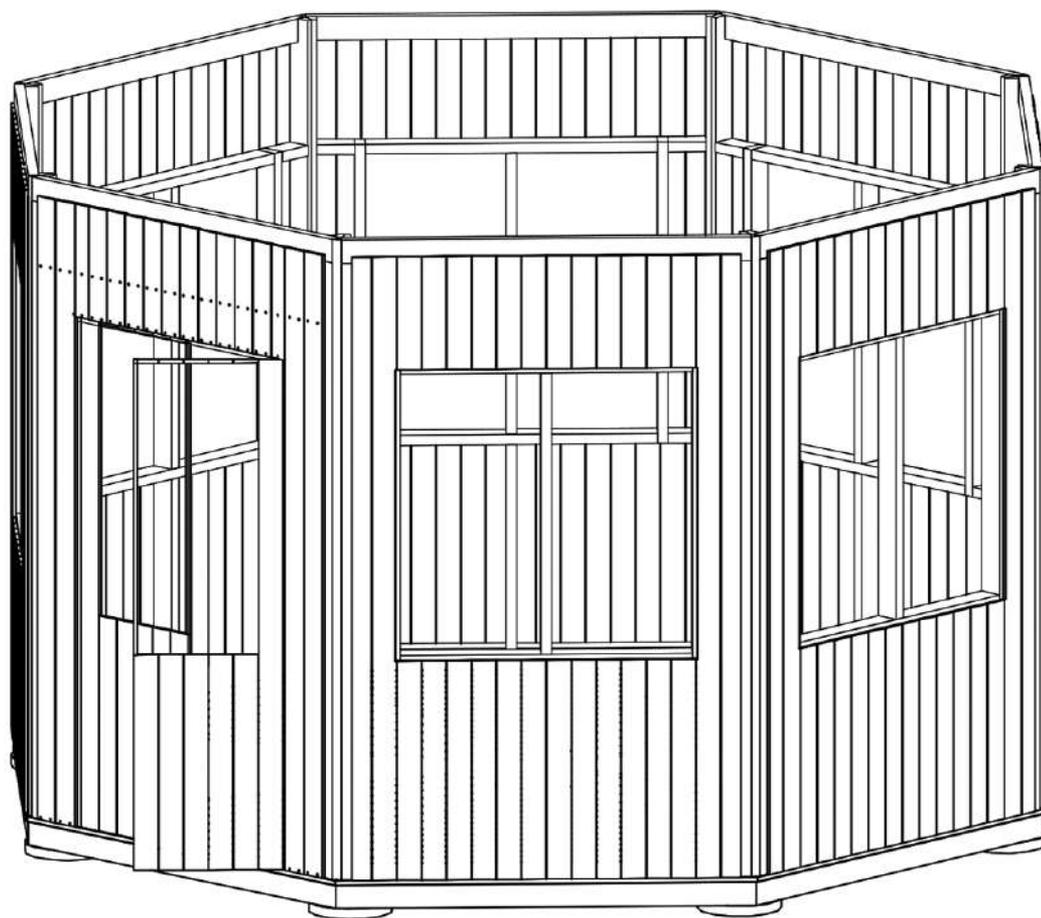


FIGURE S14

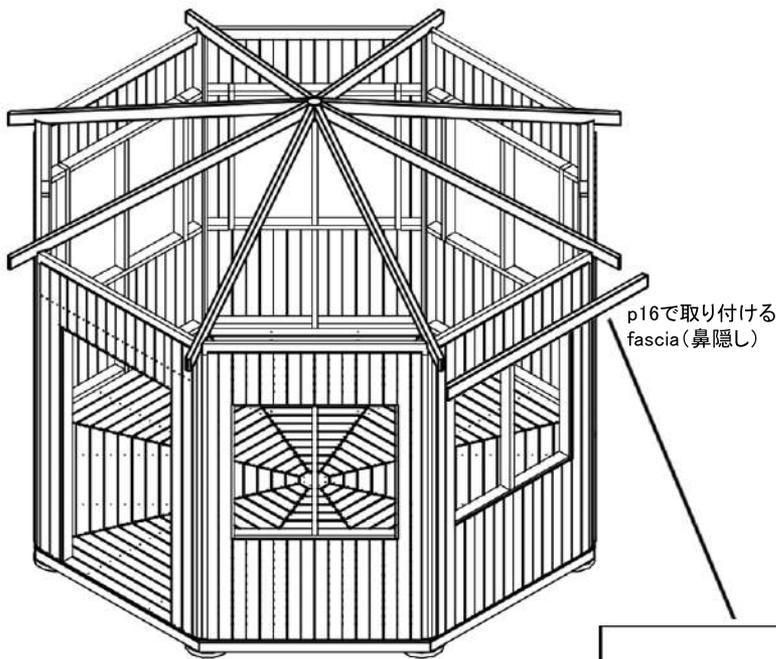
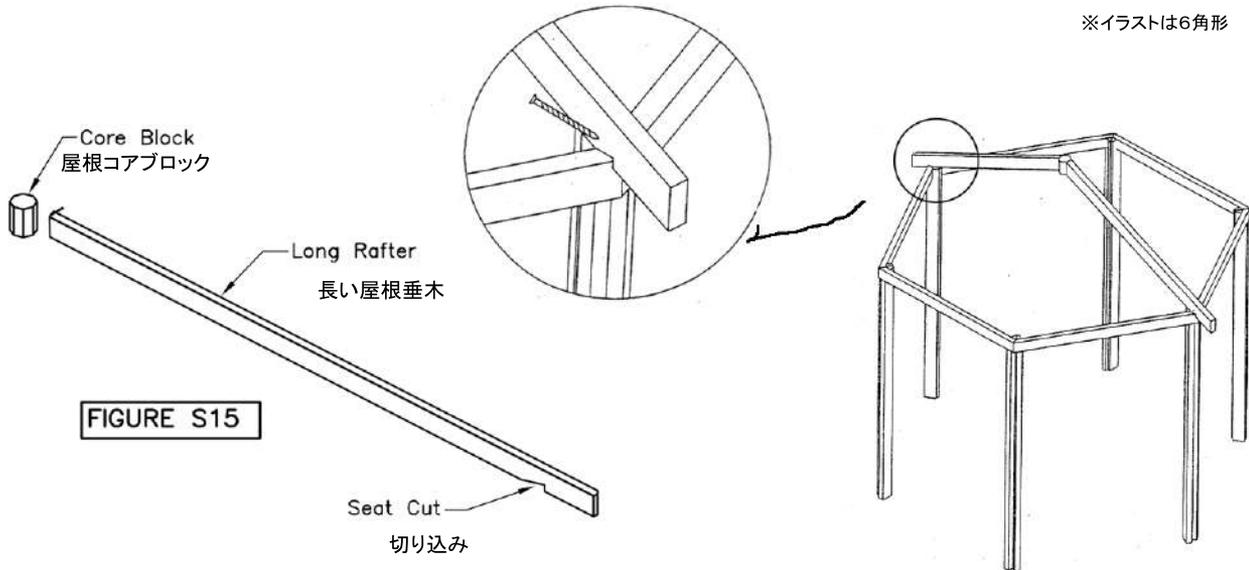
※イラストは八角形

屋根の組み立て

屋根の組み立ては、ヘルパーと脚立が必要となります。

はじめに長い垂木を取り付けます。

先に地上で1本の長い屋根垂木と六角形または八角形の屋根コアブロックを組み立てます。垂木は切り込みがある側を下に向け、1本の3インチ(76mm)ネジを使って角度を付けて留めます。あらかじめ下穴を空けておくと留めやすいでしょう。 図15参照



※イラストは八角形

屋根垂木を壁パネルに固定します。

1人がガゼボ中心に脚立を置いて上がり、屋根コアブロック付きの垂木を壁パネル上部へ乗せ、壁パネル同士の継ぎ目に切り込みが合うように乗せ支えます。

もうひとりはその合わせた箇所を3インチ(76mm)ネジを使って角度を付けて留めます。割れを防ぐためにあらかじめ下穴を空けておくと良いでしょう。次に対角の垂木を同じように取り付け安定させたら、残りの垂木も取り付けます。

屋根垂木は、六角形の場合は6本、八角形の場合は8本あります。

後のステップ(p16 鼻隠しの取り付け)で、長い垂木の位置の調整が必要になってくるかもしれないので、ネジ留めは仮留め程度にしたり、あらかじめ、fascia(鼻隠し)を長い垂木に当て、取り付け位置を確認しながら長い垂木を留めたほうが良いかもしれません。

短い屋根垂木を取り付けます。

短い垂木の取り付け位置は、soffit(軒下の板)によって決められます。図16参照

まず、短い屋根垂木の切り込みを下に向け、壁パネル上部にのせます。そして反対側の斜めにカットされている面を長い屋根垂木にぴったり合わたら、2本の3インチ(76mm)ネジで角度をつけて留めます。図16参照

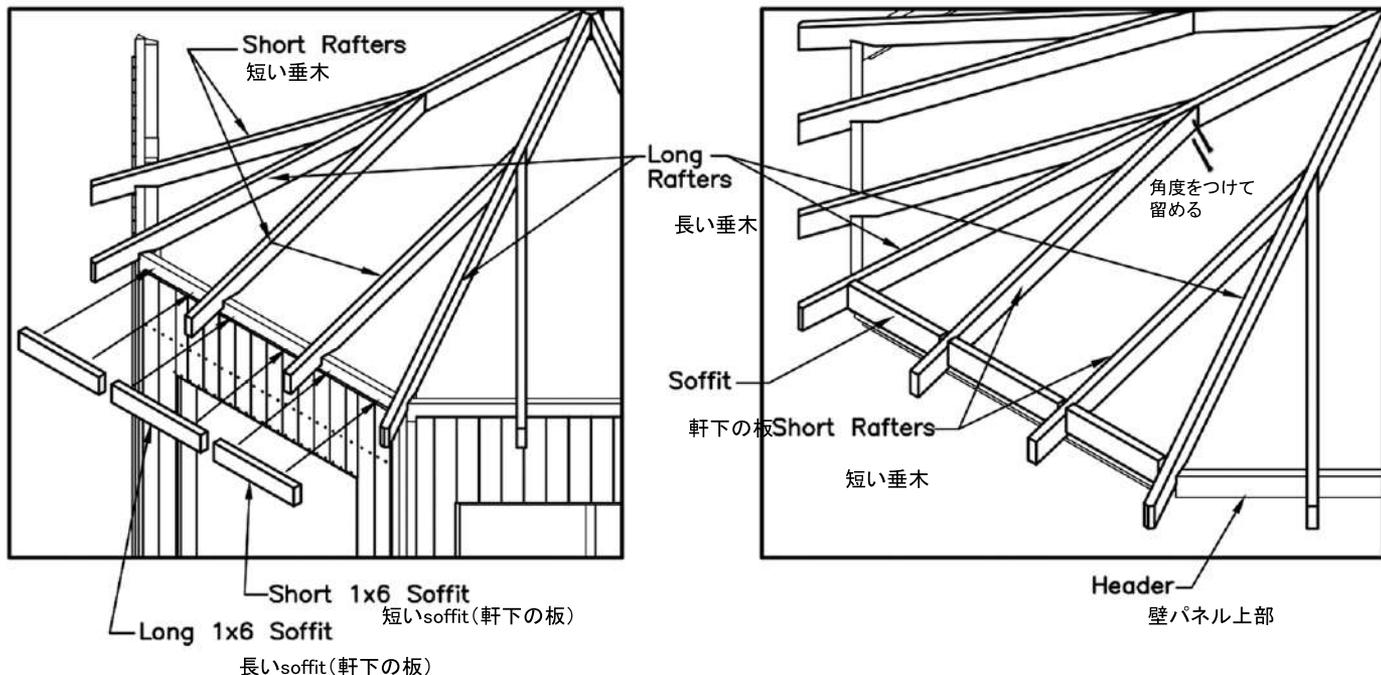


FIGURE S16

Soffit (軒下の板)を取り付けます。

(この時点ではまだ短い垂木の切り込み側はネジ留めされていません)

- 六角形ガゼボの場合: 18枚 (Shortx12枚, Longx6枚)
- 八角形ガゼボの場合: 24枚 (Shortx18枚, Longx8枚)

soffit(軒下の板)は、長い垂木~長い垂木の間それぞれ3枚取り付けます。〈長い垂木〉と〈短い垂木〉の間には短いsoffit、真ん中には長いsoffitが取り付けられるので、壁パネル上部へsoffitを置き、まだ完全に固定されていない短い屋根垂木とぴったり合うようにしたら、6本の45mm仕上げ釘でそれぞれ打ち付けます。

※短い垂木の直ぐ下にsoffitが張られない部分出来ますが、後のステップ(p23)のsoffitトリムで覆われるようになります。

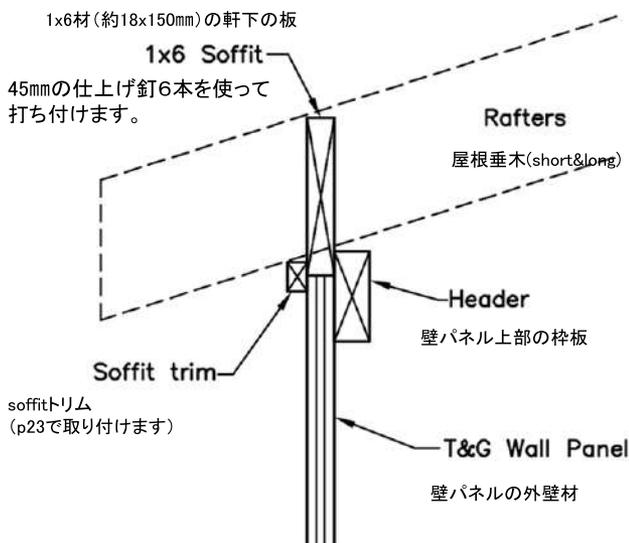


FIGURE S17

鼻隠し (fascia) の取り付け

屋根垂木をヘッダー（壁パネル上部）へ完全に固定する前に、鼻隠し (fascia) を取り付けます。

鼻隠しを取り出し、長い垂木～長い垂木の間を渡すように取り付けしていきます。鼻隠しの両端は長い垂木の角度に合うように斜面カットされているので、1人が鼻隠しの端の斜面同士がぴったり合うところで持ち、もう1人が反対側の端を斜面同士がぴったり合わせます。そして2本の50mm仕上げ釘を使って長い垂木に対して留めます。合わない場合は長い垂木の位置を調整します。

すべての鼻隠しを取り付けたら、長い垂木と短い垂木をヘッダー（壁パネル上部）へ完全に固定します。

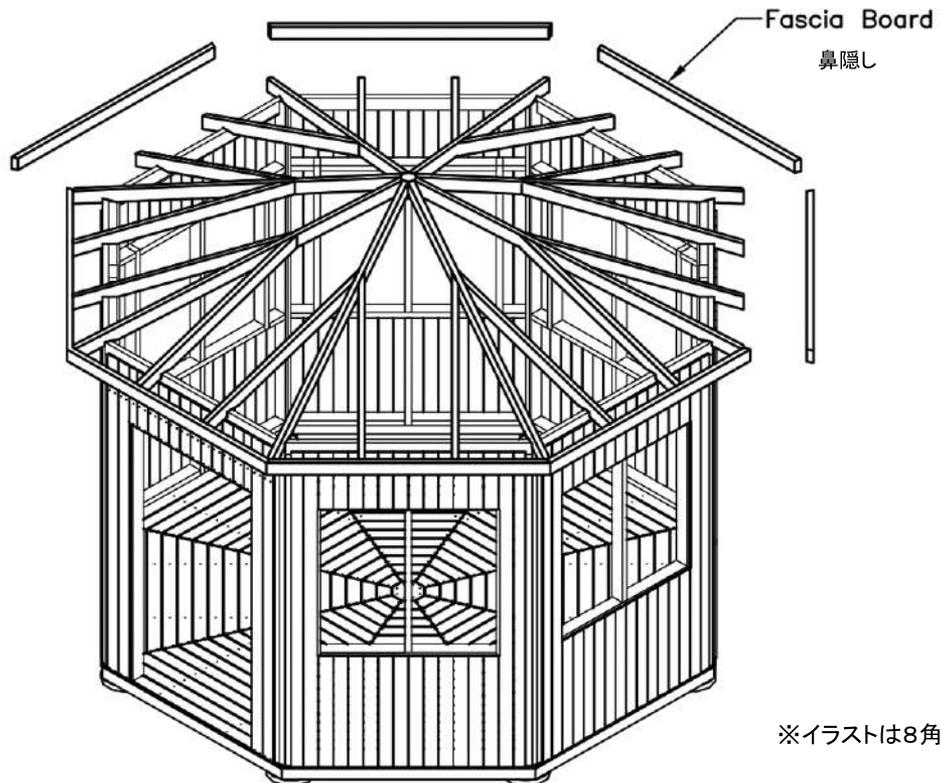
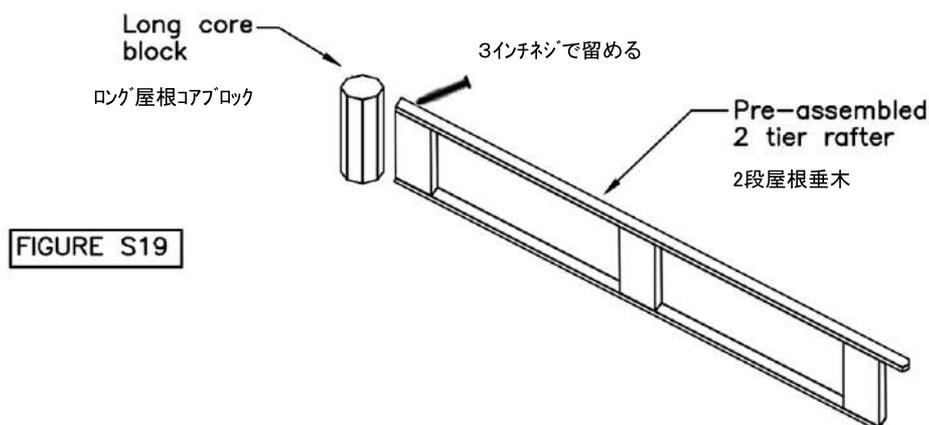


FIGURE S18

オプション 二段屋根

先に地上で1つの2段屋根用の垂木と6角形または8角形のロング屋根コアブロックを接合します。下図を参照し垂木の向きを確認したら、接合する屋根コアブロックの上面と垂木の上部に段差が出ないように高さを合わせます。そして1本の3インチ(76mm)ネジを使って角度を付けて留めます。あらかじめ下穴を空けておくと留めやすいでしょう。図19参照

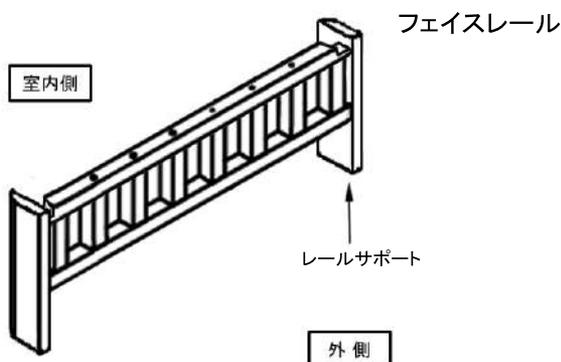


2段屋根垂木をガゼボ本体に固定していきます。脚立を使って、接合した2段屋根垂木とロング屋根コアブロックを先に取り付けた長い垂木のすぐ上へ置きます。そして2段屋根垂木から長い垂木に向かって3本の3インチ(76mm)ネジで固定します。残りの2段屋根垂木も長い垂木の上に置き、3本の3インチ(76mm)ネジで長い垂木に留め、ロング屋根コアブロックに対しても角度を付けてそれぞれ固定していきます。ロング屋根コアブロックは先に取り付けた、1段目の屋根コアブロックの真上に位置します。図20参照

フェイスレールの取り付け

フェイスレールは両端に取り付けられているサポート板の平らな面がガゼボの外側、斜面カットされている面がガゼボの内側になるよう向きを確認して、2段屋根垂木同士の間セットします。そしてフェイスレールの平らな面と2段屋根垂木の軒側に位置する小柱の前面と同一平面上になるように調整したら、2本の2インチ(50mm)ネジを使って2段屋根垂木に固定し、その下の長い屋根垂木に対しても2本の2インチ(50mm)ネジで固定します。

図20、21参照



オプション 二段屋根

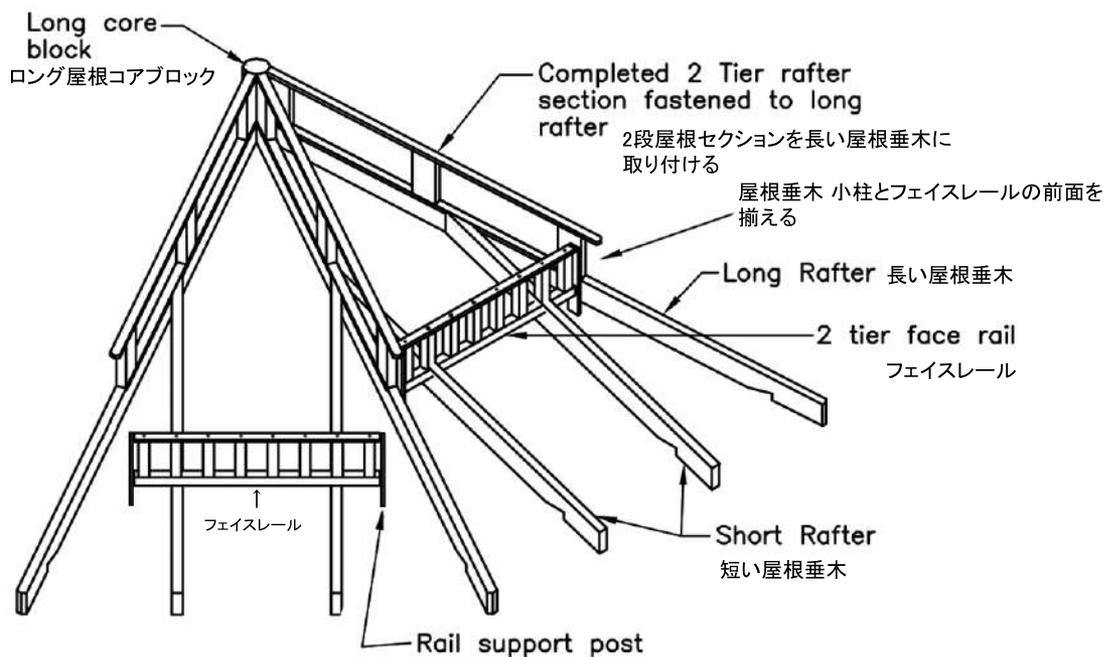


FIGURE S20

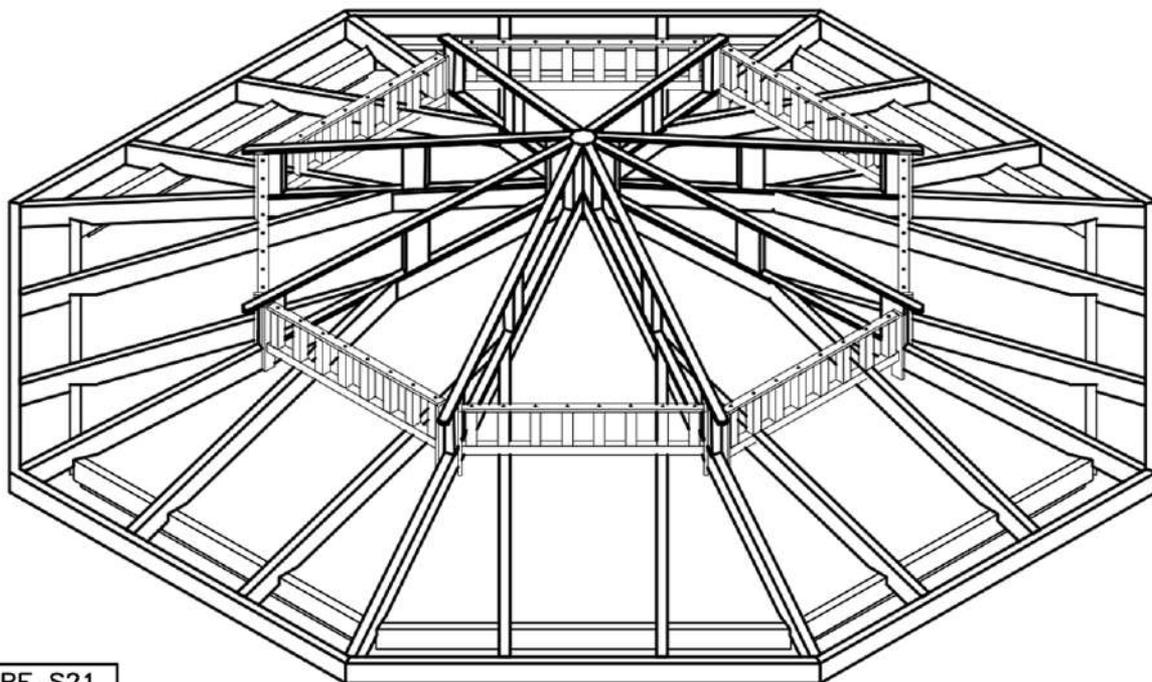


FIGURE S21

2段屋根の完成

屋根の組み立て

屋根パネルを取り付けます。

屋根パネルをヘルパーと一緒に持ち上げ垂木の上に置き、長い屋根垂木の中半分に屋根パネルがかかるように位置を調整し取り付けしていきます。

※オプションの2段屋根の場合;6角形は12枚、8角形は16枚の屋根パネルがあり、下段から取り付けます。
(図23参照)

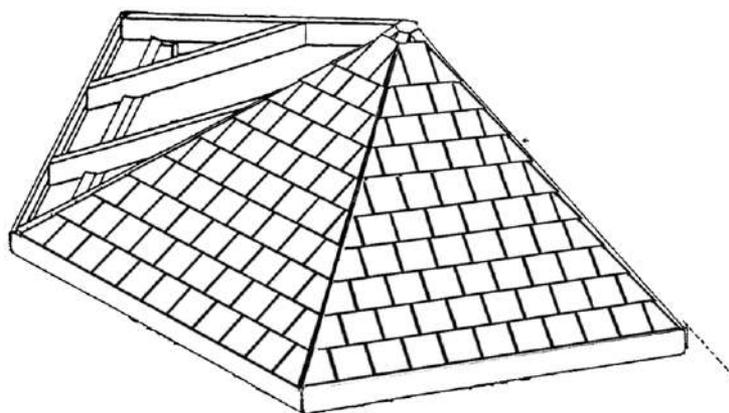
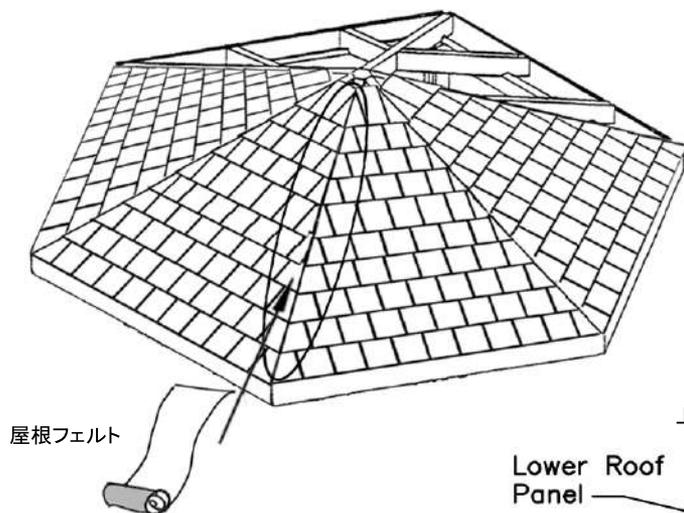


FIGURE S22

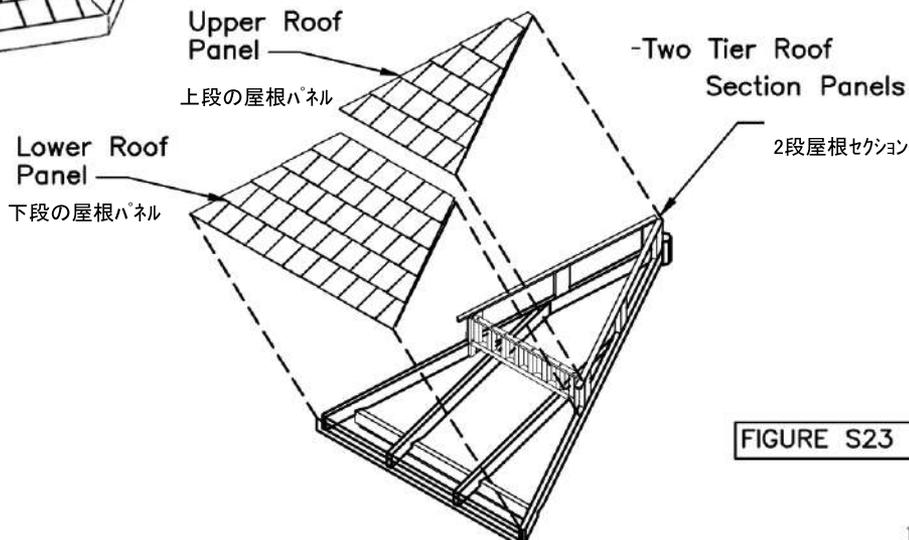
ガゼボの室内側から屋根パネルを垂木に固定していきます。

3インチ(76mm)ネジを使って、屋根パネル裏に通っている約18mmの板から長い垂木に向かって角度をつけて留めます。1枚のパネルに8本のネジを使って、すべての屋根パネルを固定します。



屋根フェルト

オプションの2段屋根;同様にガゼボの室内側から3インチ(76mm)ネジを使って、下段は屋根パネル裏に通っている約18mmの板から長い垂木に向かって、上段は2段屋根用垂木に向かって、角度をつけて留めます。1枚のパネル(上下それぞれ)に4本のネジを使って、すべての屋根パネルを固定します。



【NOTE】

ロール状の黒い屋根フェルト(ルーフィングフェルト)が同梱されている場合は、屋根のつなぎ目が覆われるまで広げ、長さを調整しカットしたら、1インチ(約25mm)釘で留めます。すべての屋根つなぎ目に取り付けます。

※2段屋根の場合も同様です。

FIGURE S23

オプション ベンチ

- The Hexgon Gazebo comes with 5 Benches and Octagon comes with 7. Each Bench has two legs. Attach both sets of legs to the Bench seat using 3" screws. See Figure S24.
- The back of each bench has a notch which will fit against the gazebo Post. Position each bench and screw in two places: fasten the legs into the Deck, and fasten the Balusters into Bench seat.

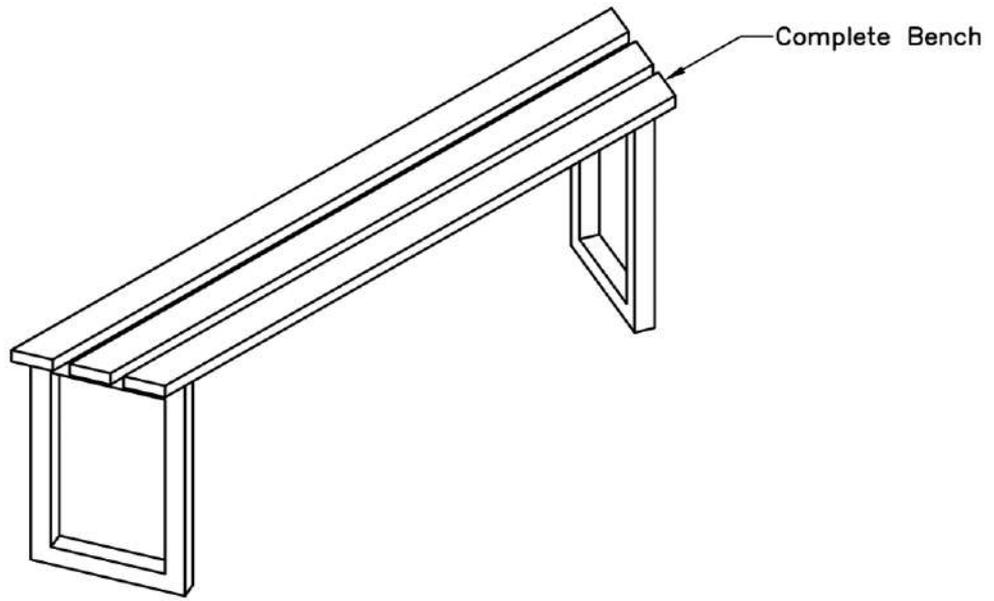


FIGURE S24

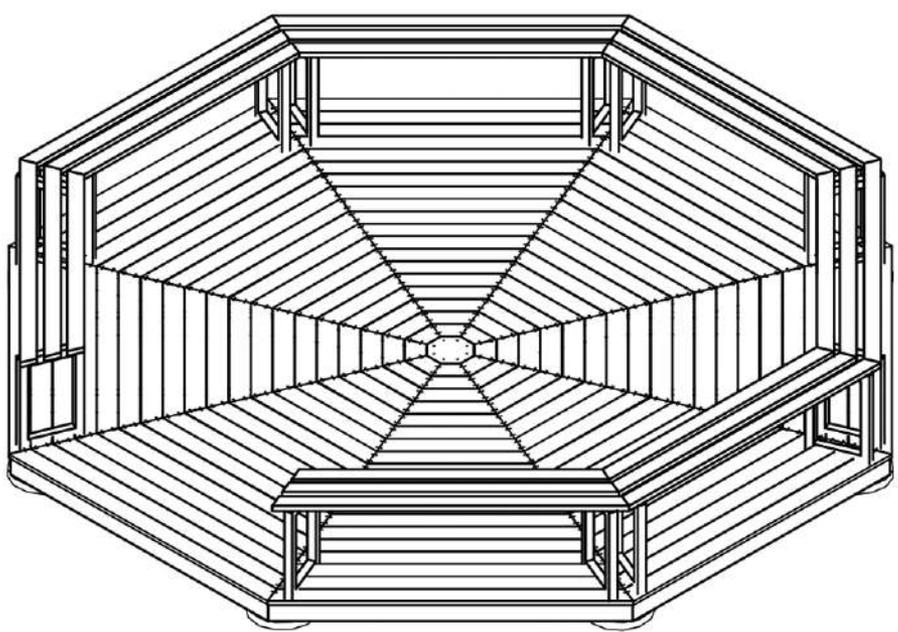


FIGURE S25

棟キャップの取り付け

- 棟キャップは屋根パネル同士の継ぎ目を覆うように下から頂上に向かって取り付けしていきます。まず最初の棟キャップを屋根パネルの下端から約12mmせり出すように置き、2インチ(50mm)の屋根用釘2本を使って打ち付けます。
※屋根パネルを通してその下の垂木に対しても留まるようにするために2本の釘は離れすぎないようになるべく内側に留めてください。
- 次に重ねる棟キャップは、最初に取り付けた棟キャップの下端よりさらに6mmほどせり出して置き、下端から約216mmのところに釘で打ち付けます。
- 3段目以降は、前段の棟キャップ下端から約190mm離して置き、釘は重ねた棟キャップの下端から約216mmのところに打ち付けます。
- 続けて頂上付近まで進めていきます。最後の1~2枚は長さを調整するためにカットする必要があるかもしれません。オプションを購入されていない場合は、→p23の組み立て完成へ
- オプションの2段屋根仕様の場合は下段から始めます。同じ手順でフェイスレールまで近づいたら棟キャップをカットする必要があります。上段のスタートも下段屋根と同じよう棟キャップを最初に2重(せり出すように)に取り付けてから、頂上付近まで進めていきます。

◎オプションのキューポラを購入した場合; 棟キャップの取り付けが頂上の30cmほど手前まできたら、組み立てたキューポラをのせ、屋根に取り付けます。→ 組み立てと取り付けはp22

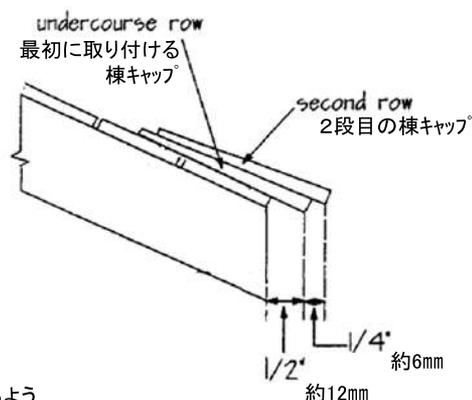
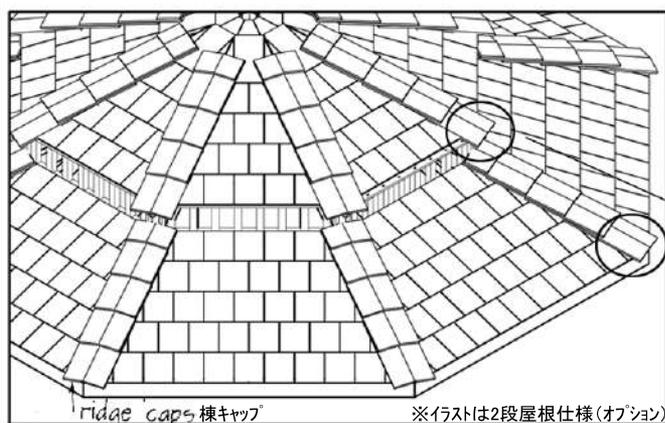


FIGURE S26

※ いちばん下に通っている屋根垂木に留まるよう
2本の釘の間はなるべく離さず、内側に向かって角度を付けて
打ち付けると良いでしょう。

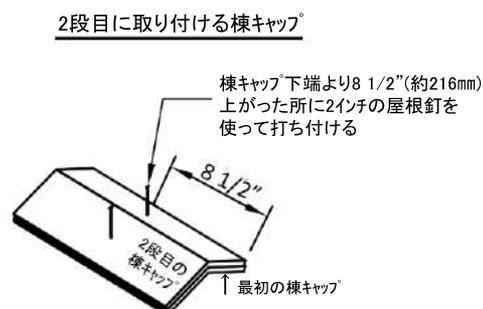
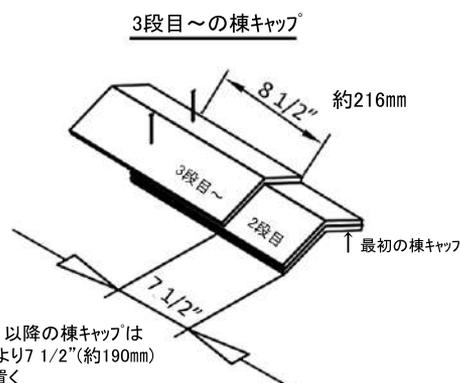


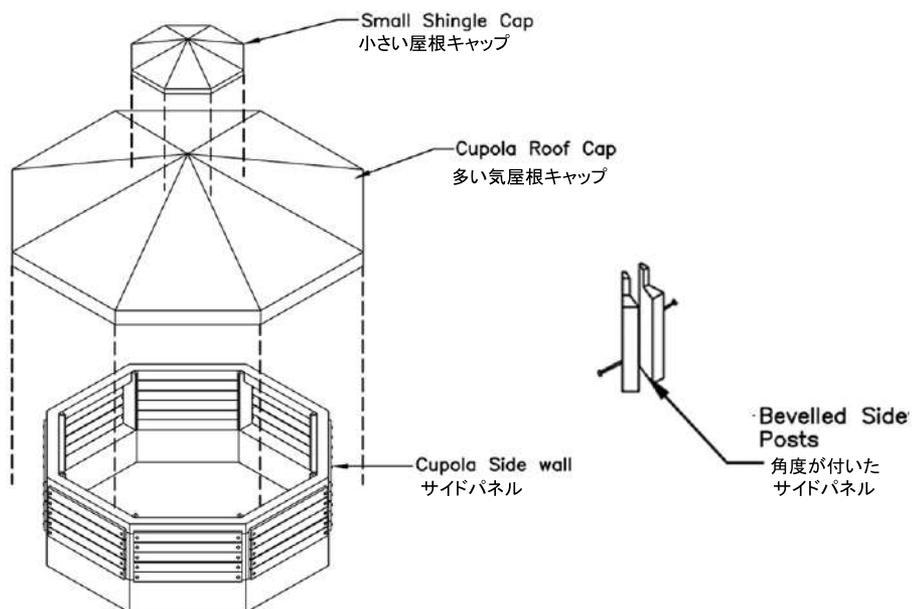
FIGURE S27

3段目以降の棟キャップは
前段より7 1/2"(約190mm)
離し置く

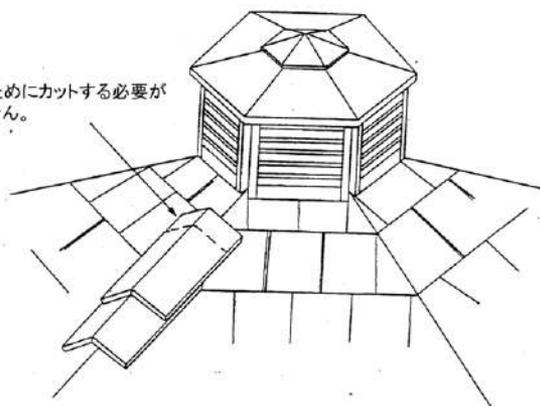
オプション キューポラ

- ・ サイドパネルの角度のついた面同士を2インチ(50mm)ネジ2本使ってそれぞれ接合します。
6面または8面、すべてが接合されたら大きいキャップを頭にのせ水平にします。
そして3インチ(76mm)ネジを3本使って大きいキャップからサイドパネルに対して固定します。
- ・ 小さいキャップを2インチ(50mm)ネジを2~3本使って取り付けます。
- ・ 組み上がったキューポラを屋根に取り付けます。キューポラのサイドパネルの継ぎ目と屋根パネルの継ぎ目のラインを合わせ、3インチ(76mm)ネジを使って屋根パネルに対して固定します。
キューポラの底部は屋根にフィットするように角度がついています。
- ・ 最後に、前ページで途中まで取り付けした棟キャップを仕上げます。
キューポラにぴったり合うよう重ねる部分を調整しますが、うまく調整できない場合は最後の1~2枚をカットして調整します。

FIGURE S28

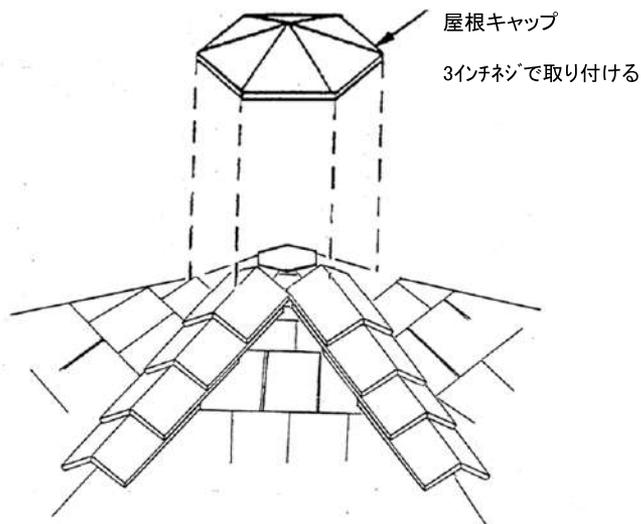


長さを調整するためにカットする必要があるかもしれません。



屋根キャップの取り付け

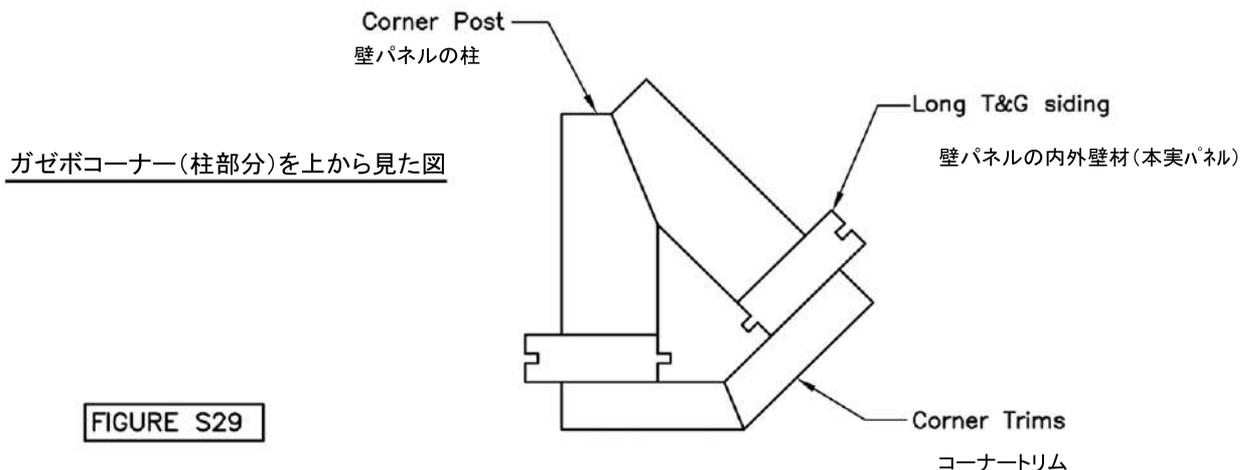
オプションのキューポラを購入されていない場合は、屋根の頂点に屋根キャップを取り付けます。棟キャップの上に水平になるように置いたら、3インチ(76mm)ネジを3本使って留めます。



トリム (Soffit Trim と Corner Trim) の取り付け

最初に、Soffit Trim(軒下のトリム)を取り付けます。短い屋根垂木の直ぐ下に小さなスペースがあるので、それを隠すように45mmの仕上げ釘で打ち付けます。Soffit Trimは、1x2材(厚 約18×巾 約50mm)。 p15参照

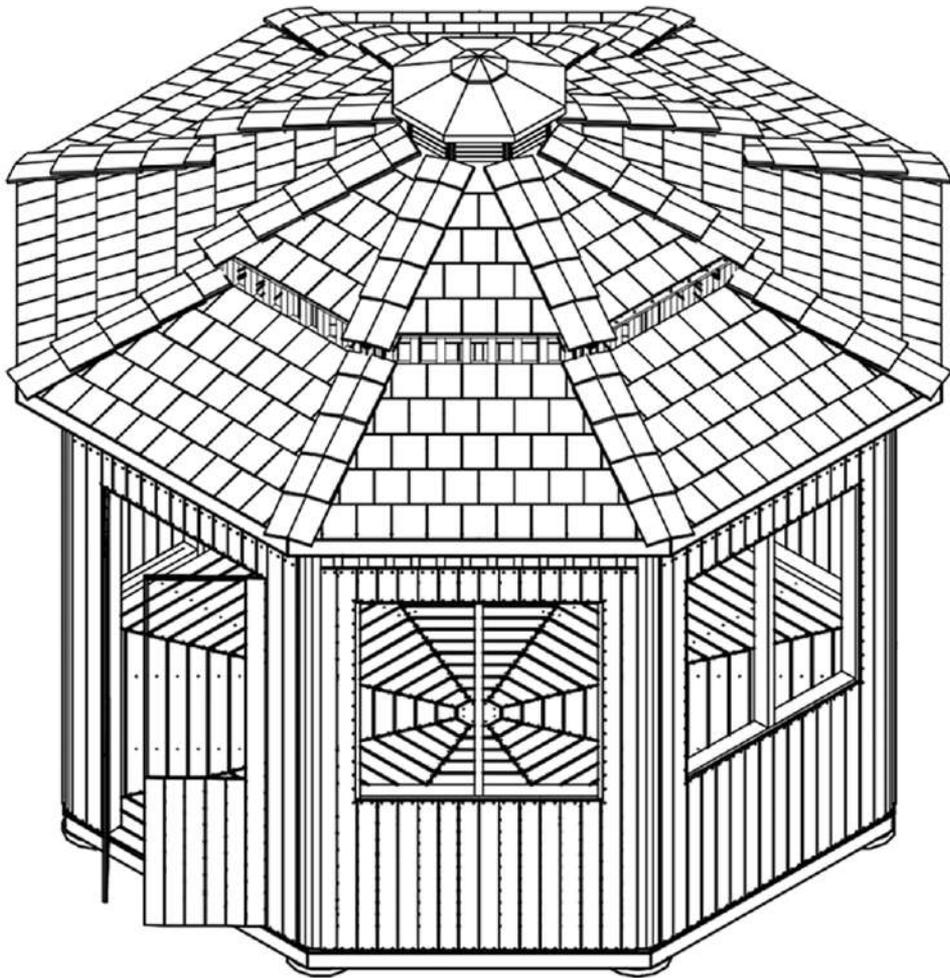
コーナートリムを取り付けます。コーナートリムは、1x4材(厚 約18×巾 約90×長 約2100mm)で、片面が斜面カットされています。この斜面同士を合わせると、ガゼボのコーナーに合うはずですが。コーナートリムを持ち上げ、上部の長い屋根垂木の底部にぴったり合わせたら、8本の45mm仕上げ釘で壁パネルの柱の打ち付け固定します。(電気配線をする場合は、このコーナートリム内の隙間から電線を内部へ通すことができます。)



組み立て完成

これで完成です。
組み立てを楽しみながら作業を行って頂けたでしょうか。
お好みの色で塗装し、ガゼボ製品のご使用を永くお楽しみください。

ご不明点等ありましたら販売店までご連絡下さい。



※イラストは8角形（オプション：二段屋根&キューポラ）